# 令和4年度 鑑石園在宅介護支援センター 事業報告書

## 1. 事業運営の概況

令和4年7月より法人内の異動にて介護支援専門員が1名増え、4人体制となり特定事業所加算 IIを算定。居宅支援人数は、昨年 3 月比で介護給付が71人→76人、予防給付が35人→45人、合計人数106人→121人となり、全体人数としては15人増加(昨比114%)したが一人当たりの担当人数としては35.3人/月→30.2人/月と減少した。

担当ケース内容としては、認知症ケース、身寄りがない方、8050問題、 虐待ケース等と多岐に渡り、介護支援専門員のひとケース当たりの業務負 担が大きくなっている。

## 2. 事業計画実施状況

## (1) 職員の資質向上

各職員に対して年間個別研修計画を立て、法定研修、富士市介護保険課、地域包括支援センター主催研修、各自必要とされる研修への参加を計画的に行い、事業所内での伝達を行った。

また、週1回ミーティングを開催し、担当ケースの情報共有や事例検討、 月1回以上の勉強会を行い、職員の資質向上に努めた。

#### (2) 安定した事業運営

7月より介護支援専門員 4 人体制となり特定事業所加算ⅢからⅡの算定となった。

居宅支援人数は、令和3年度 106 人に対し、4年度は 121 人で 15 人増 となったが、目標とする 144 人/月を達成することはできなかった。

担当人数としては、一人当たり30.2人/月で目標の36人/月を達成することができなかった。

#### (3) 信頼される事業所

今年度、市のケアプラン点検に参加し、また、運営指導が実施され、指摘 事項なく、2 つの助言事項を頂いた。

利用者と家族の意向を尊重し、丁寧な説明に努め、利用者、家族が主

体的に選択・決定が行えるよう支援し法令遵守に努めた。

苦情件数は、サービス提供事業所に対するものが1件あったが、迅速な対応に努め、ご家族様のご理解を得ることができた。

また、個人情報の取り扱いに細心の注意を図り、漏洩防止に努めた。

(4) 地域住民、地域包括支援センター、各事業所、関係諸機関等との連携の強化 新型コロナの影響が続き、地域行事への参加はできなかった。

令和5年2月には吉原中部包括圏域の事業所(アダモ介護支援センター、 オアシス在宅介護支援センター、在宅介護支援センターふじみ台、居宅介 護支援事業所朋優)との合同事例検討会を実施した。

その他、随時、地域包括支援センターを始め、関係諸機関や医療機関、サービス提供事業所と密に連携を行い、顔の見える関係作りに努めた。